

【フロンティアスクール中間報告書】

(都道府県 山形県)

・学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	櫛引町立櫛引東小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	9	16
	分校 1	分校 1						(2)	
児童数	20 (4)	20 (3)	28 (3)	19 (2)	27	36	3	165 (12)	

学級数の計及び児童数は分校<()の内の数>を含む

・研究の概要

1. 研究主題

一人一人に確かな学力を身に付ける指導法の研究

2. 研究内容と方法

(1)実施学年・教科

3～6年算数 (系統的内容の教科なので各学年の内容の定着をはかるため)
1・2年国語 (学習の基礎となる読む、書く、表現する力を育成するため)

(2)年次ごとの計画

平成
14
年
度

テーマ

一人一人に確かな学力を身につける指導法の研究

仮説

1つのクラスを複数の教師で指導し、個に応じた支援の工夫すれば、一人一人が成就感をもち、確かな学力が身につくであろう。

研究の内容・方法

- ・ 全校一斉に行う学びっ子タイムを設定し、算数のスキル問題を活用し二人体制で指導にあたり、数と計算領域を重点的に指導する
- ・ 学校研究「心豊かで活力に満ちた子どもの育成」の中で、国語の課題選択型を意識した授業や算数のT・T指導を工夫した授業に取り組む。

平成
15
年
度

テーマ

一人一人に確かな学力を身に付ける指導法の研究

仮説

- 1 個の習熟度や興味・関心に応じた教材を開発し提示すれば、一人一人が生き生きと主体的に学習するであろう。
- 2 児童の実態や学習の内容に応じて指導法・指導体制を工夫すれば、一人一人が成就感をもち、個の学力を伸ばすことができるであろう。
- 3 学ぶ力を高める評価を工夫すれば、一人一人のよさを生かし、確かな学力を身につけることができるであろう。

平成
16
年
度

研究内容・方法

- ・習熟度別学習、課題選択学習における教材・教具の開発とその利用
- ・教材の系統性・関連性を踏まえ、児童のつまずきに応じた類似・問題の準備
- ・1・2年生合同の課題選択学習における少人数指導（読書・表現）の実施
- ・3～6年生算数におけるT・T指導、少人数指導（習熟度別学習）の実施
- ・ふり返しカードの工夫と活用
- ・評価を指導・支援に生かすための児童記録の工夫
- ・児童の意識調査の累積

テーマ

一人一人に確かな学力を身に付ける指導法の研究

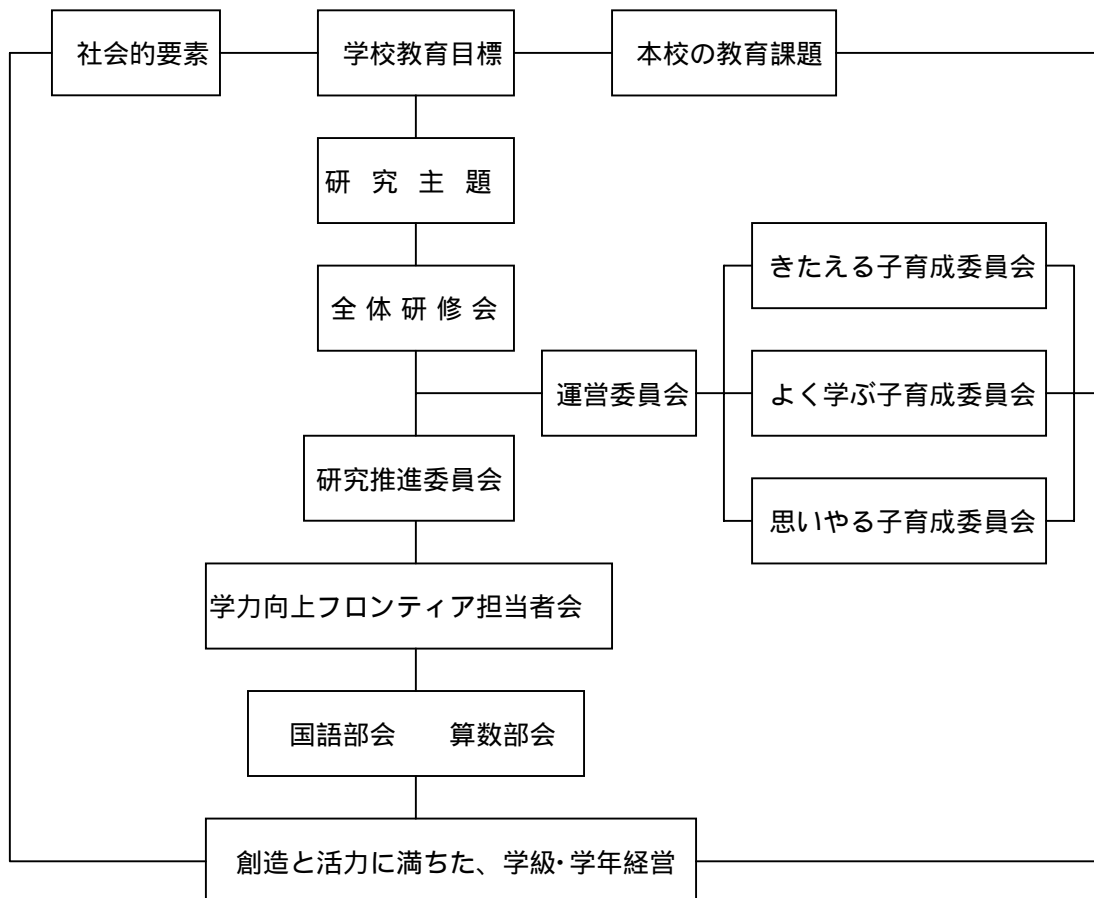
研究の見通し

- ・基礎基本の力の一層の充実を図る。
- ・個を伸ばすための指導法の改善

研究内容・方法

- ・全学年基礎基本の力（読み）の定着の工夫
- ・個に応じた多様な指導方法、指導体制の試み
- ・教材を開発し、個に応じた指導を進めていく。
- ・複数教師による評価の仕方の工夫

(3)研究推進体制



．平成15年度の成果及び課題

1．研究の成果

授業研究を通して

- ・ 児童の実態や学習内容に応じて指導体制（習熟度別学習・課題選択学習）を工夫したことで、主体的積極的な学びの姿が見られ、学習意欲の向上が図られた。
- ・ 問題の吟味、具体的教具、提示のタイミングの試行の中で教師側の教材研究の姿勢が確立し、話し合いの場が多くもたれお互いに学びあうことができた。
- ・ 「学びっ子タイム」と教科（国語・算数）との連動が図られ、「学びっ子タイム」が有効に使われている。
- ・ 全学年ふり返りカードによる自己評価を行い、次の指導に生かすことができた。

児童の意識調査から

- ・ 国語では、T・T学習をどの子も肯定的に受け止めており、特に課題選択学習が楽しかったと答えている子が多い。
- ・ 算数の学習では、算数を好き・よく分かれると答えている子が増加しており、「わかる」ことが「好き」につながっていくことが多いと考えられる。
- ・ 習熟度別学習では、「自分のペースで進める わかりやすい 発表しやすい」などの理由でもっとやりたいと答えている子が多い。

2．今後の課題

- ・ 基礎的な「読み」の力の育成のために、全学年で音読の取り組みの工夫や国語科におけるT・T指導の充実を図る。
- ・ 学びっ子タイムにおけるスキル問題の作成と学年の枠を超えて復習できる体制を確立する。
- ・ 評価規準を明確にし、複数の教師の共通理解のもとで、評価と指導の一体化を図る。
- ・ 子どもの変容を地域や家庭に伝える。

．学力等把握のための学校の取組について

- ・ 教研式全国標準診断的学力検査の実施（年1回 4月）
- ・ 教研式観点別到達度学力検査の実施（年1回 1月）
- ・ 児童のアンケート意識調査の実施（年3回 学期毎）

．フロンティアスクールとしての研究成果の普及

・ 研究会の開催

日 時 平成15年10月7日（火）午後1時40分～4時30分
場 所 櫛引東小学校
テ - マ 「一人一人に確かな学力を身につける指導法の研究」
対 象 庄内地区の小中学校教職員など

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無